

# 28 堀小〔5〕学年・学級 経営プラン

## ◆学年目標

- ①自分で課題を見つけて、すすんで学習に取り組む子
- ②集団を意識して行動できる子
- ③互いを認め合える子

## ◆学年経営 (学校経営計画を受けて学年・専科として重点にしていくこと)

### 〔方針〕

- ・苦手なことに向き合い、課題解決に向けて粘り強く取り組む。また、得意なことでは、高い目標を決めて取り組み、自分の力を伸ばそうとする。
- ・集団の一員であることを自覚し、話をしっかりと聞くことや、時間を守って行動することなど、一人一人が何をすべきかを考え、より良い行動をする。
- ・いろいろな友達と関わりをもつことで、自らのコミュニケーションの力を高める。また、友達の考えと自分の考えを比較し、より良い人間関係を作る。

### 〔重点的な取組〕

- ・高学年としての自覚をもち、任された仕事に責任をもって取り組むと共に、自分が何をすべきかを判断し、行動できる力をつける。

## ◆学級経営 (学級づくりの方針・特に大事にすること・配慮すること)

### 1組

- ・学習の基礎基本の定着を図るため、ノートの記入方法を指導すること、漢字を正しく書くこと、計算を正確に処理することを徹底する。また、学習のつまづきを早期に発見できるように、授業以外で個別指導を適宜取り入れ、基礎学力の向上を図る。

- ・「もっと知りたくなる授業」を目指し、学年で教材や教具の共有、指導方法の提案を積極的に行う。

- ・高学年としての自覚と責任をもち、学校、学年、学級での仕事を友達と協力して、自主的に取り組めるよう、学級での話し合いと振り返りの時間を定期的に設ける。

- ・お互いの考えを認め合い、親切な言葉かけが自然にできる学級づくりを目指す。そのためには、道徳の時間(週1回を基本とする)で自分の言葉や振る舞いについて考える機会を設ける。

### 2組

- ・学習内容の基礎的な内容を重視して指導を行い、児童の実態に合った展開や教材づくり、教具の使用をすることで、自ら課題に取り組む学習環境をつくる。

- ・互いを思いやる姿勢を大切にし、お互いを認め合うことのできる集団にする。

- ・一人一人の児童が集団の一員として自覚をもち、相手も気持ちを思いやりながら生活していく心を育てる。

- ・堀小スタンダードを基にしながら、正しい事と間違っていることの判断を自分自身で行い、行動していくように支援をしていく。

### 3組

- ・互いの個性を認め合い、優しい声掛けができる学級にする。また、いけないことは「いけない」としっかりと友達を注意したり、友達の言葉を素直に聞き入れたりできる関係性をつくる。

- ・「堀小スタンダード」をもとに、基本的な学習態度や生活習慣を身に付けさせる。特に、授業態度や忘れ物の指導を徹底する。

- ・高学年としての自覚と責任をもち、「今何をするべきか」を常に考え、状況判断を適切に行いながら様々な場面で自主的に行動できる力を育てる。

- ・学習の基礎基本である、漢字や計算の学習を徹底する。